



校歌『六稜の星のしるしを』歌詞

- りくりょう ほし せいしゅん ひたい
 一 六稜の星のしるしを 青春の額にかざし
- こうがん してい せんゆうよ ひ かよ きたのこうこう
 紅顔の子弟千有余 日に通う北野高校
- なんばみどう どうじま つ きたの
 二 そのむかし難波御堂に 堂島に次ぎて北野に
- いくえい もん ひら ひゃくゆうよねん はな かお
 育英の門を開きて 百有余年花は薰りぬ
- よどがわ ふか なが ろっこう くも みね
 三 淀川の深き流れよ 六甲の雲いる嶺よ
- な お おおさか しろ てんさい たか
 名にし負う大阪の城 天才の高きかたみよ
- てんねん にんげん かんがみ
 四 天然とはた人間と とこしえにわれの亀鑑
- なが むね あ あ とも ふる
 眺むるも胸のときめき 嗚呼友よ奮わざらめや
- だいとう くに うんめい せいしゅん かた
 五 大東の邦の運命 青春の肩にかかれり
- ぼこう きたのこうこう けんじ はげ
 あゝ母校北野高校 その健児励まざらめや

※赤字は年代により異なる歌詞が歌われていたようです。
 ご自身の記憶の歌詞で歌っていただいても結構です。